



AP-4000/700 シリーズ 復旧手順書

■ はじめに

本書は、AP-4000/700 シリーズの復旧手順書です。

- ・ アクセスポイントのパスワードを忘れた時や、各種パラメータ設定をデフォルトに戻す時は、「工場出荷状態に戻す」をご参照下さい。
- ・ アクセスポイントのファームウェアが壊れていて、現在のファームウェアを消去し、新しいファームウェアをダウンロードする時は、「強制リロード」をご参照ください。

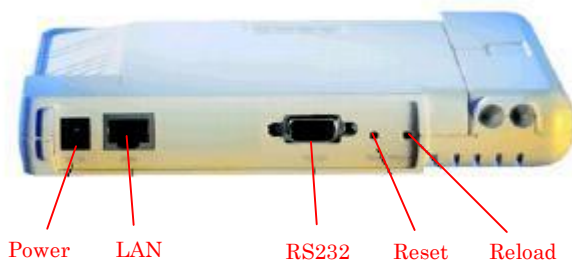
■ 工場出荷状態に戻す

注意：

アクセスポイントの IP アドレスやサブネットマスクを含んだネットワーク設定やパスワードをリセットします。アクセスポイントのファームウェアは消去されません。

1. 「RELOAD」ボタンを 10 秒間、押し続けます。

結果： アクセスポイントが再起動し、工場出荷状態に戻ります。



2. DHCP を使用していない場合、ScanTool または、CLI (Command Line Interface) で IP アドレス、サブネットマスク等を設定します。



■ 強制リロード

注意：

現在のファームウェアを消去して、新しいファームウェアをダウンロードします。

事前に、以下の準備を行う必要があります。

- ・ TFTP サーバの準備
- ・ AP-4000/700 のファームウェア（TFTP サーバにアップロードしておきます。）

1. アクセスポイントが動作中に、「RESET」 ボタンを押します。

結果： アクセスポイントが再起動し、LED が点滅し始めます。

2. 「POWER LED」 がオレンジ色に変わるまでに、約 20 秒間、「RELOAD」 ボタンを押し続けます。

結果： 現在のファームウェアが消去されます。

注意：

手順 2 を行うと、アクセスポイントのファームウェアが消去されます。ファームウェアをリロードするために、TFTP サーバとアクセスポイントを **Ethernet** ケーブルで接続する必要があります。（直接接続する場合は、クロスケーブルで接続します。）

Bootloader CLI を使用する場合は、シリアルケーブルも接続します。

3. アクセスポイントに新しいファームウェアをロードするために、以下の手順のうち 1 つを実行します。

- ・ ScanTool を使用したファームウェアのダウンロード
- ・ Bootloader CLI を使用したファームウェアのダウンロード

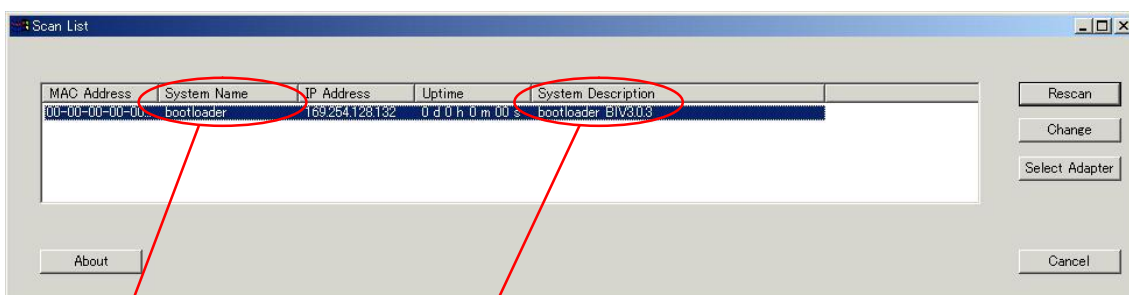


■ ScanTool を使用したファームウェアのダウンロード

ファームウェアをダウンロードする前に、アクセスポイントの IP アドレス、サブネットマスク、TFTP サーバの IP アドレス、ファームウェアのファイル名を把握しておいて下さい。

TFTP サーバを起動させ、ダウンロードするファームウェアを適切なフォルダに置きます。

1. ScanTool を起動します。



System Name
bootloader

System Description
bootloader BIV3.0.3

ファームウェアがない状態のアクセスポイントは上図のように表示されます。

2. ファームウェアをダウンロードしたいアクセスポイントを選択して、「Change」ボタンをクリックします。

以下のようなウィンドウが開きます。



MAC Address	00-00-00-00-00-00
Name	bootloader
IP Address Type	<input checked="" type="radio"/> Static <input type="radio"/> Dynamic
IP Address	169.254.128.132
Subnet Mask	255.255.0.0
Gateway IP Address	169.254.128.133
TFTP Server IP Address	169.254.128.133
Image File Name	AP600.bin
Read/Write Password	*****

OK
Cancel

3. 「IP Address Type」を「Static」にします。

注意：

ファームウェアがない場合、DHCP クライアント機能は有効になっていないので、固定 IP アドレスを一時的に割り当てる必要があります。

4. 「IP Address」フィールドにネットワーク上で使用していない IP アドレスを入力します。

5. 「Subnet Mask」フィールドにサブネットマスクを入力します。

6. 必要であれば、「Gateway IP Address」フィールドにデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。アクセスポイントと TFTP サーバが存在するネットワークがルータで分けられている場合だけ、デフォルトゲートウェイを入力する必要があります。

7. 「TFTP Server IP Address」フィールドに TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

8. 「Image File Name」フィールドにファームウェアのファイル名を入力します。



(ファイル名は、拡張子を含めた形式で入力します。) フルパスでファイル名を入力します。デフォルトの TFTP ディレクトリにファイルを置いている場合、ファイル名だけ入力します。

9. 「Read/Write Password」にパスワードを入力します。

(デフォルトのパスワードは「public」になります。)

10. 「OK」をクリックします。

結果： アクセスポイントが再起動し、ファームウェアのダウンロードが自動的に始まります。TFTP サーバのステータス画面で、ダウンロードが開始されていることを確認してください。

11. ダウンロードが終了した後、AP の設定を行ってください。



Bootloader CLI を使用したファームウェアのダウンロード

ファームウェアをダウンロードする前に、アクセスポイントの IP アドレス、サブネットマスク、TFTP サーバの IP アドレス、ファームウェアのファイル名を把握しておいて下さい。

TFTP サーバを起動させ、ダウンロードするファームウェアを適切なフォルダに置きます。

1. アクセスポイントのシリアルポートとマシンのシリアルポートを接続するために、ストレートのシリアルケーブルを使用します。
2. ハイパーターミナルのようなターミナル・エミュレーション・プログラムを起動し、以下の接続プロパティを設定します。

- ・ 接続方法： COM1、COM2 等 マシンに依存します。
- ・ ビット/秒： 9600
- ・ データ ビット： 8
- ・ パリティ： なし
- ・ ストップ ビット： 1
- ・ フロー制御： なし

3. 「ファイル」 > 「プロパティ」 > 「設定」 > 「ASCII 設定」をクリックし、「行末に改行文字を付ける」にチェックを入れます。

結果： ハイパーターミナルは、コマンド 1 行ごとに改行文字を送ります。

4. アクセスポイントの「RESET」ボタンを押します。

結果： ターミナル画面に Power On Self Tests(POST)が表示されます。約 30 秒後に、「Sending Traps to SNMP manager periodically」というメッセージが表示されます。

このメッセージが現れた後に、以下のプロンプトが表示されるまで「Enter」キーを繰り返し押します。

[Bootloader]>



5. 以下のステートメントだけ入力します。

```
[Bootloader] > set ipaddrtype static  
[Bootloader] > set ipaddr <アクセスポイントの IP アドレス>  
[Bootloader] > set ipsubmask <アクセスポイントのサブネットマスク>  
[Bootloader] > set tftpipaddr <TFTP サーバの IP アドレス>  
  
[Bootloader] > set tftpfilename <ファームウェアのファイル名 (拡張子を含む) >  
[Bootloader] > set ipgw <デフォルトゲートウェイの IP アドレス>  
[Bootloader] > show (設定確認のため)  
[Bootloader] > reboot
```

例 :

```
[Bootloader] > set ipaddrtype static  
[Bootloader] > set ipaddr 10.0.0.12  
[Bootloader] > set ipsubmask 255.255.255.0  
[Bootloader] > set tftpipaddr 10.0.0.20  
[Bootloader] > set tftpfilename AP4000.bin  
[Bootloader] > set ipgw 10.0.0.30  
[Bootloader] > show  
[Bootloader] > reboot
```

結果： アクセスポイントは再起動し、ファームウェアをダウンロードします。TFTP サーバのステータス画面で、ダウンロードが開始されていることを確認してください。

5. ダウンロードが終了した後、AP の設定を行ってください。

以上